

健康福祉常任委員会



後列 松本 龍一 神田 公司 後藤 修一
前列 尾方 洋直 ◎木村 祐一 ○丸内 三千代

◎は委員長、○は副委員長

●所管の範囲

- ・健康福祉部
(福祉課、子育て支援課、
高齢者支援課、
健康づくり推進課)
- ・福祉事務所

問 システム修正委託契約について。
生活保護法改正案は、現在国会で審議中であるが、基準の改定を8月から行うことは既定のものになっており、7月上旬までにシステム改修テスト実施が必要で、法案成立後の契約となる。

答 平成25年度合志市一般会計補正予算について。
(福祉課)

問 合志市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例について。
今現在、DV防止法による保護命令を受けている方はいるのか。
答 今現在この保護命令を受けて、児童扶養手当の対象となっている方はいない。

問 合志市子ども・子育て会議設置後の予定は。
答 7月号の市広報紙にて委員の募集を行い、8月に最初の会議を開催する。並行して「子ども子育て支援事業計画策定ニーズ調査」に入る予定であるが、調査集計に2カ月ぐらい要するので、その後に結果と今後についての会議を開く予定である。3回目の会議として、事業量の見込みが出たあと、年度末に行う。

問 合志市子ども・子育て会議設置後の予定は。
答 7月号の市広報紙にて委員の募集を行い、8月に最初の会議を開催する。並行して「子ども子育て支援事業計画策定ニーズ調査」に入る予定であるが、調査集計に2カ月ぐらい要するので、その後に結果と今後についての会議を開く予定である。3回目の会議として、事業量の見込みが出たあと、年度末に行う。

問 合志市子ども・子育て会議設置後の予定は。
答 7月号の市広報紙にて委員の募集を行い、8月に最初の会議を開催する。並行して「子ども子育て支援事業計画策定ニーズ調査」に入る予定であるが、調査集計に2カ月ぐらい要するので、その後に結果と今後についての会議を開く予定である。3回目の会議として、事業量の見込みが出たあと、年度末に行う。

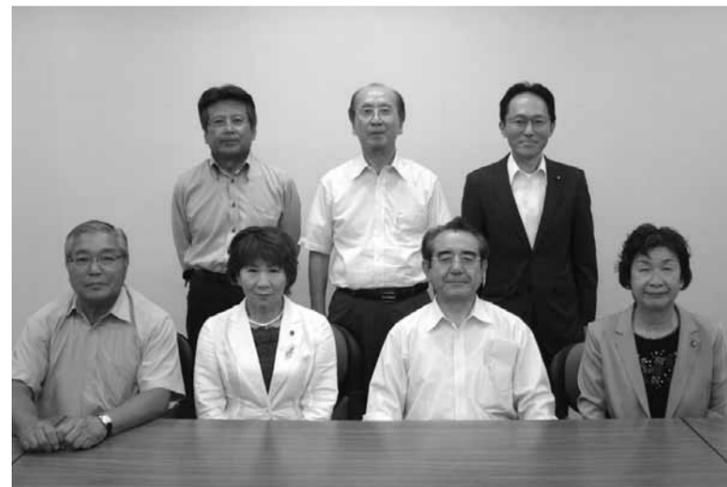


【賛成討論】
生活保護費の削減策を前提としたシステム修正委託費に反対である。
【反対討論】
システムを改修して事業を進めるべきである。

問 保育士等処遇改善臨時特例事業補助金は単年度か、継続か。
答 この財源は「安心子ども基金」とされており、財源の確約がないため単年度事業と考えている。
(健康づくり推進課)

問 疾病予防対策事業費等補助金創設について。
答 働く世代に大腸がん、女性に子宮がん・乳がんが多いという事で、平成21年度から子宮がん、乳がん検診、平成23年度から働く世代の大腸がん検診を、5年ごとに受診を行うよう国が勧奨し継続的に行われている。

文教経済常任委員会



後列 木場田 孝幸 濱口 正暁 上田 欣也
前列 今村 直登 ◎松井 美津子 ◎青木 照美 坂本 早苗

◎は委員長、○は副委員長

●所管の範囲

- ・教育委員会
(学校教育課、生涯学習課、
人権啓発教育課)
- ・事業部
(建設課、都市計画課、農政課)
- ・水道局(上下水道課)
- ・農業委員会事務局

問 熊本県より本年4月、「コミュニティ助成事業として採択された。これに係る検討会議設置費、監修費、マンガ作製費、印刷費などの予算である。優れた人材を輩出した合志義塾をマンガを通じ子どもたちに広く伝えたい。
(農政課)

問 林業総務費の需用費について。
答 孟宗竹を利用した循環型農村整備計画を目指すための費用で、その前段として、「バンブーミックス」という竹を使った畜産用菌体飼料を購入し、モニター畜産農家に使用してもらう。

問 熊本県より本年4月、「コミュニティ助成事業として採択された。これに係る検討会議設置費、監修費、マンガ作製費、印刷費などの予算である。優れた人材を輩出した合志義塾をマンガを通じ子どもたちに広く伝えたい。
(農政課)

問 この計画を推進するにあたりプロジェクトチームをつくる計画は。
答 モニタリングの結果を受けて次の段階に進む。この事業は、市内中小企業の振興や地産地消、地域資源の有効活用による6次産業化、新規事業拡大による雇用の拡大も視野に入れている。初期の段階から農家、企業、大学、国、県機関等と連携を取りながら事業を推進したい。

